

宮城県利水ダム
個別施設計画

宮城県農政部農村整備課

令和6年3月

目 次

1	個別施設計画の対象施設	P 1
2	計画対象期間	P 2
3	施設の状態	P 2
4	今後の対策	P 4

1 個別施設計画の対象施設

利水ダム5基で個別施設計画（以下「計画」）を策定している。

※計画は機能保全計画を含む。



栗駒ダム（昭和37年竣工）



川原子ダム（昭和44年竣工）



村田ダム（昭和54年竣工）



菅生ダム（平成8年竣工）



宿の沢ダム（平成15年竣工）

2 計画対象期間

対象期間は各計画において、策定から概ね10年間又は40年間としている。

施設名	計画期間
① 栗駒ダム	令和元年度～令和40年度
② 川原子ダム	令和2年度～令和11年度
③ 村田ダム	令和2年度～令和41年度
④ 菅生ダム	令和2年度～令和41年度
⑤ 宿の沢ダム	平成28年度～令和37年度

3 施設の状態（令和6年3月時点）

各施設において機能診断を実施しており、健全度評価は下表のとおり。

ダム名	河川名	形式	竣工年	経過年	施設種別	健全度評価
栗駒ダム	北上川水系 三迫川	重力式 コンクリートダム	昭和37年	61年	土木	C
					機械	S-3
					電気	S-3
川原子ダム	阿武隈川水系 川原子沢川	均一型 アースダム	昭和44年	54年	土木	S-4
					機械	S-3
					電気	S-3
村田ダム	阿武隈川水系 荒川	中央遮水 ゾーン型 フィルダム	昭和54年	44年	土木	S-3
					機械	S-2
					電気	S-2
菅生ダム	北上川水系 迫川支川	均一型 フィルダム	平成8年	27年	土木	D
					機械	S-3
					電気	S-2
宿の沢ダム	北上川水系 宿の沢川	均一型 フィルダム	平成15年	20年	土木	C
					機械	S-4
					電気	S-4

【参考】健全度評価と施設状態の対応表

健全度指標	施設の状態	
	土木施設	施設機械設備
S-5	変状がほとんど認められない状態	異常が認められない状態
S-4	軽微な変状が認められる状態	軽微な異常が認められるが、機能上の支障はない状態
S-3	変状が顕著に認められる状態	放置されると機能に支障が出る状態
S-2	施設の構造的安定性に影響を及ぼす変状が認められる状態	著しい性能低下により、機能に支障がある状態
S-1	施設の構造的安定性に重大な影響を及ぼす変状が複数認められる状態。近い将来に施設機能が失われる、又は著しく低下するリスクが高い状態	設備等の信頼性が著しく低下しており、近い将来に設備の機能が失われるリスクが高い状態。性能が総合的に著しく低下している状態

「農業水利施設機能保全の手引き」（令和5年4月）より

判定ランク	対応
D	全体に変状はなく、安全である。通常の管理を継続することで問題ない。
C	全体的には劣化程度は小さく、当面は通常の管理を継続することで問題ない。
B	部分的に劣化がみられる状態である。変状の確認された箇所については、次回点検時に前回の記録（又は状況）との対比を行い、劣化の進行程度を確認する。
A	全体的に劣化が進行している状態であり、早急に詳細調査を実施する。

「農業用ダム機能診断マニュアル」（平成23年4月）より

4 今後の対策（令和6年3月時点）

長寿命化対策 着手施設

施設名	事業名・地区名	事業期間	事業概要
村田ダム	農村地域防災減災事業 （用排水施設等整備事業 （鉍毒対策事業） 「村田地区」	令和3年度～	土木設備 一式 洪水吐 機械設備 一式 シリンダゲート 電気設備 一式 ダム管理設備 一式
栗駒ダム	農山漁村地域整備交付金 水利施設等整備事業 （基幹水利施設保全型） 「玉山2期地区」	令和5年度～	機械設備 一式 ジェットフローゲート 電気設備 一式 ダム管理設備 一式
菅生ダム	農山漁村地域整備交付金 水利施設等整備事業 （基幹水利施設保全型） 「菅生地区」	令和6年度～	機械設備 一式 取水ゲート、流量調節ゲート 電気設備 一式 ダム管理設備 一式